

雑報

殻や輪で囲まれた銀河

球殻やリング状の淡い構造に取り囲まれた銀河が、最近注目を集め始めている (Ann. Rev. Astron. Astrophys. 23, 147). 近年の観測技術の進歩に伴って、銀河本体に垂直に立ったリングを持つポーラーリング銀河 (天文月報 1985年7月号の若松氏の記事参照) や、玉葱のように幾重にも重なった球殻を持つ楕円銀河が発見され、詳細な観測が可能になってきた。そして、それとともにこれらの銀河が、銀河の周囲にある“見えない質量 (ミッシング・マス)” を観測するための非常に都合の良い天体だと考えられはじめたからである。これらの構造が通常の銀河より広い範囲に存在するため、力学モデルを用いてそこまでの力学質量を求めることが可能となるのである。

一方、これらの銀河の特異な形状をどのようにして形成するかということは、それ自身非常に興味深い問題である。今のところ、両者とも2つの銀河の衝突、合体によ

ってこれらの構造が作られたとする説が有力であるが、その形成過程の細部については不明な点も多く、なぜ特定の種類の銀河のみがこれらの構造を持つのかといった問題などに対しても明確な答は得られていない。観測・理論とも、これらの現象に対する理解は今始まったばかりではあるが、我々はちょうど銀河進化の重要な一面の顕著な例を見ているところなのかもしれない。

(佐々木 実)

☆ ☆

☆ ☆ ☆

◇ 3月の天文暦 ◇

日時	記	事
1 1	水星	東方最大離角
1 19	月	最近
3 21	下弦	
6 6	啓蟄	(太陽黄経 345°)
7 7	水星	留
10 24	朔	
17 4	月	最遠
17 5	水星	内合
19 2	上弦	
19 23	土星	留
21 7	春分	(太陽黄経 0°)
26 12	望	
27 23	天王星	留
28 23	月	最近
29 15	水星	留

1985年12月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	0,	0	11	1,	5	21	1,	7	
2	0,	0	12	1,	9	22	—,	—	
3	2,	3	13	1,	8	23	0,	0	
4	0,	0	14	2,	8	24	0,	0	
5	0,	0	15	2,	15	25	0,	0	
6	—,	—	16	2,	57	26	0,	0	
7	—,	—	17	2,	56	27	0,	0	
8	—,	—	18	2,	36	28	0,	0	
9	0,	0	19	2,	26	29	0,	0	
10	1,	3	20	2,	26	30	0,	0	
(相対数月平均値: 12.5)							31	0,	0

◇ 3月の日月惑星運行図 ◇

